

人となれ

Y K 生

人間の勉むべき事で何が一番大切でありませうかそれは疑ひもなく「人となれ」と云ふ事です、信玄の歌に「人多き人の中にぞ人はなき人となれ人となれ人」と云ふのが御座ります、又西洋の言葉に Let me first be a man. と云ふのがあります、東西所を異にし時を異にしてもなほ「人となれ」と云ふ事は同一であります、我々は「人」とならんか爲めに學び人とならんが爲めに生くるものであります、近來科學の進歩につれ人も亦單細胞より進化したる一動物に過ぎず人と猿とは密接な關係にたつと云ふ事は種々なる方面より立證されもはや争ふ餘地もない事實であります、然かもなほ私の耳には「人」と云ふ言葉と「猿」「犬」など云ふ言葉などとは全く別に異様にひびきます、「人」それは萬物の靈長として誇る可きものでせうか、「人」それは大宇宙を支配する權力を持つて生れて來たもので

せうか、それについて私は全く知りません、たい私には常に「人となれ」と云ふ言葉の下に奮闘し努力する運命になつてきたものと信じます、「人」と云ふ意味は常に不完全不充分を意味して居ります、然しこの不完全不充分たるやいか程にても減少し得るものであります、人と神との距離は我々が考へ得るいかなる小さな距離よりも更にせまく近づく事が出来るものであります、がしかもなほ到底神となる可きものではありません、古來の英雄豪傑を神と尊ぶは所謂鷄頭の位置より牛尾の位置にうつすものでその人それ自身にとつては反つて不平かも知れませんが、都て多少の不完全不充分がある爲めに我々には向上があり希望があります、それは遂には限りなく神に近づき得る特權のあるものです、聖人格の満足を得ることの出来る幸福なる動物です、此の特權を放棄し、禽獸に近かつんとする人はありはしませんか、よし自分では近づくかなくも向上の坂は急であり行立は退歩であります、日に三度自ら省みて行をつゝしむると云ふかくの如き人は眞に「人」となるの道を踏んで

ある人と云はなければなりません、或人曰く乞ふ  
 醜より始めよ汝の品性は甚だ不完全なり、汝の修  
 養は甚だ幼稚なり、先づ他人に云はんより自ら行  
 へ」と然し人は必ず自ら行ふよりより以上の事を  
 云ふものであります、己の行爲には寛にして他人  
 の行爲には嚴なるものであります、然かし相互に  
 誠め合ひ相互によりよき事を云ふは之れやがて向  
 上の第一歩ではありませんか、ソクラテスは善は  
 即利であるそしてそれは直ちに自分の行爲となつ  
 たのですこの三者の間に何等の衝突も牙楯もあり  
 ませんでした即ちソクラテスの人格の高かつた事  
 を證します、今日事實上善行をしても反つて不利  
 をまねいたと考へる事がありますそれは我々の修  
 養がたらず人格が不完全の致すところであります  
 しかもなほ衆人の前にたつては因果應報の理をと  
 き善因には必ずや善果ありされば我々は善を行ふ  
 べしと申します、即口だけではソクラテスその  
 人の人格に及んで居ります、口だけでもよろしい  
 遂には眞の人格も口につれて向上してゆくであり  
 ませう。

### 保 育 叢 話

光 藤 夫 人

#### 皮膚病につきて

既に冷水浴及び温浴につきました其の肝要一日も  
 缺くべきものでない事を述べましたが、此の皮膚  
 病豫防としては、其の効が著しい事と存じます。  
 又鼻孔を明けるなども、尤もよき時機で御座いま  
 す、私共五兒が今迄に於て、種々な皮膚病にか  
 かつた事のないのは、大方此の二方法の賜物と存  
 じます、疾病に犯されるとか、不慮の災にかゝる  
 とかいふのは、始んど機微の間に其の原因があつ  
 て、誰れでも其の原因に氣がつく事ばかりはない  
 ので御座います。アイアノ子の病氣は何で起つた  
 か、ドーモ分らんといふ様な事が普通一般であり  
 易い。しかし其の不明といふのは恐らく私は其の  
 人の不明不行届を表證するのであらうと、存じま  
 す。眞に學識高遠に研究の度が深うありますれば  
 其の不明の語は漸時跡を絶つ様になりますの